

5. 津南～中子 沿線地区

【津南～中子 沿線地区の公共交通の現状】

- ・ 1 路線 7 系統と津南町内では系統数が多い地域。
- ・ 津南病院～中子のみ平均乗車率が 2.0 を上回っているがその他の系統は 2.0 を下回っており、利用者が極めて少ない。
- ・ 路線バスと津南中学校スクールバス（芦ヶ崎小児童も混乗）の運行ルートが概ね重複。

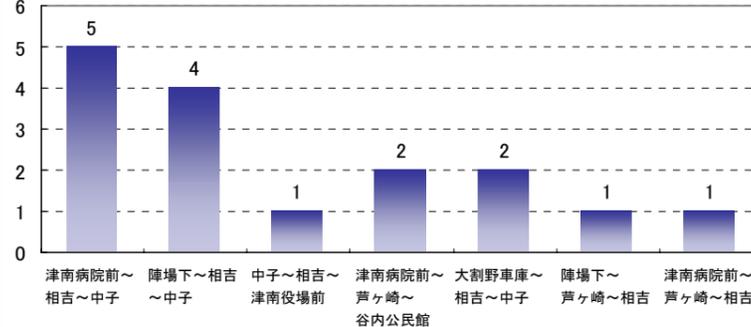
●路線の概況

運行本数(平日)

津南～中子地区は 1 路線 7 系統行が運行。運行本数としては全体で 16 本。

- ・ 「津南病院前～相吉～中子」上下計 5 本 (2.5 往復)
- ・ 「陣場下～相吉～中子」上下計 4 本 (2 往復)
- ・ 「中子～相吉～津南役場前」上下計 2 本 (1 往復)
- ・ 「津南病院前～芦ヶ崎～谷内公民館」上下計 2 本 (1 往復)
- ・ 「大割野車庫～相吉～中子」上下計 2 本 (1 往復)
- ・ 「陣場下～芦ヶ崎～相吉」上下計 1 本 (0.5 往復)
- ・ 「津南病院～芦ヶ崎～相吉」上下計 1 本 (0.5 往復)

(本) ※上下計

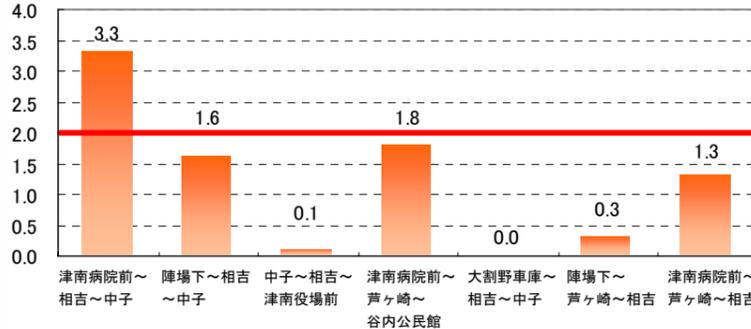


平均乗車密度

津南～中子間は「津南病院前～相吉～中子」以外 2.0 人未満。

- ・ 「津南病院前～相吉～中子」: 3.3 人/便
- ・ 「陣場下～相吉～中子」: 1.6 人/便
- ・ 「中子～相吉～津南役場前」: 0.1 人/便
- ・ 「津南病院前～芦ヶ崎～谷内公民館」: 1.8 人/便
- ・ 「大割野車庫～相吉～中子」: 0.0 人/便
- ・ 「陣場下～芦ヶ崎～相吉」: 0.3 人/便
- ・ 「津南病院～芦ヶ崎～相吉」: 1.3 人/便

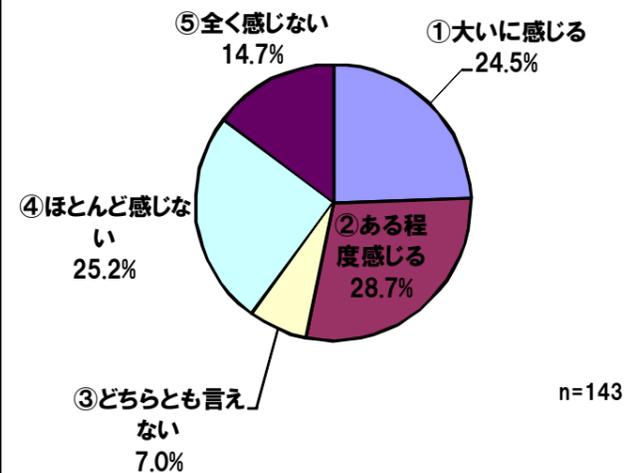
(人/便)



●住民ニーズ(※アンケート調査結果から問題点・課題部分を掲載)

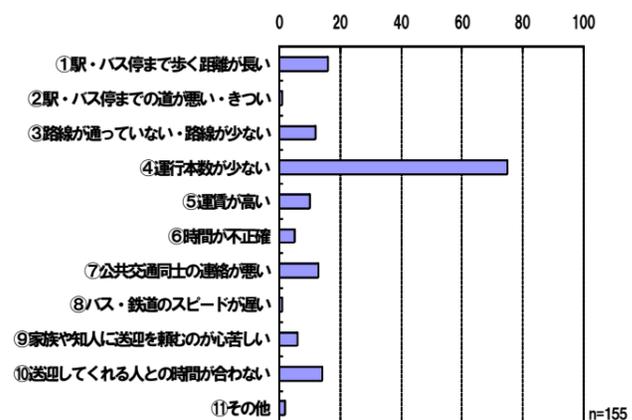
【公共交通の満足度】

- ・ 公共交通利用者の 53.2%が不満と感じている。



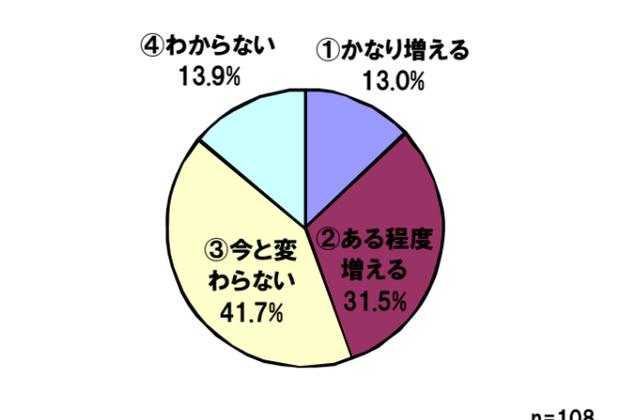
【具体的な不便内容】

- 1位: 運行本数が少ない。
- 2位: 駅・バス停まで歩く距離が長い
- 3位: 送迎してくれる人との時間が合わない



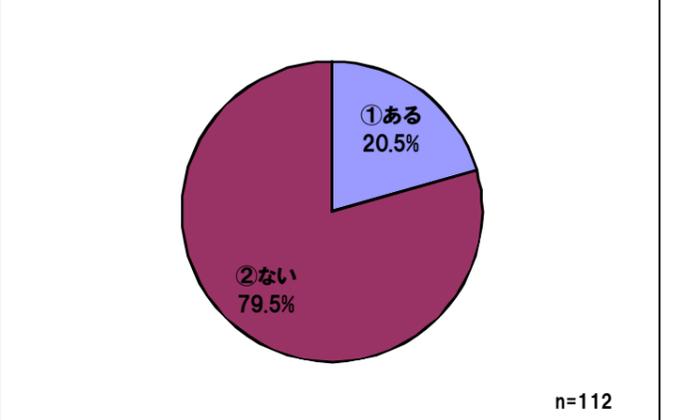
【不便改善による利用機会】

- ・ 便改善しても「今と変わらない」と回答された方が 41.7%。「利用機会が増加する」と回答された方を上回っている。

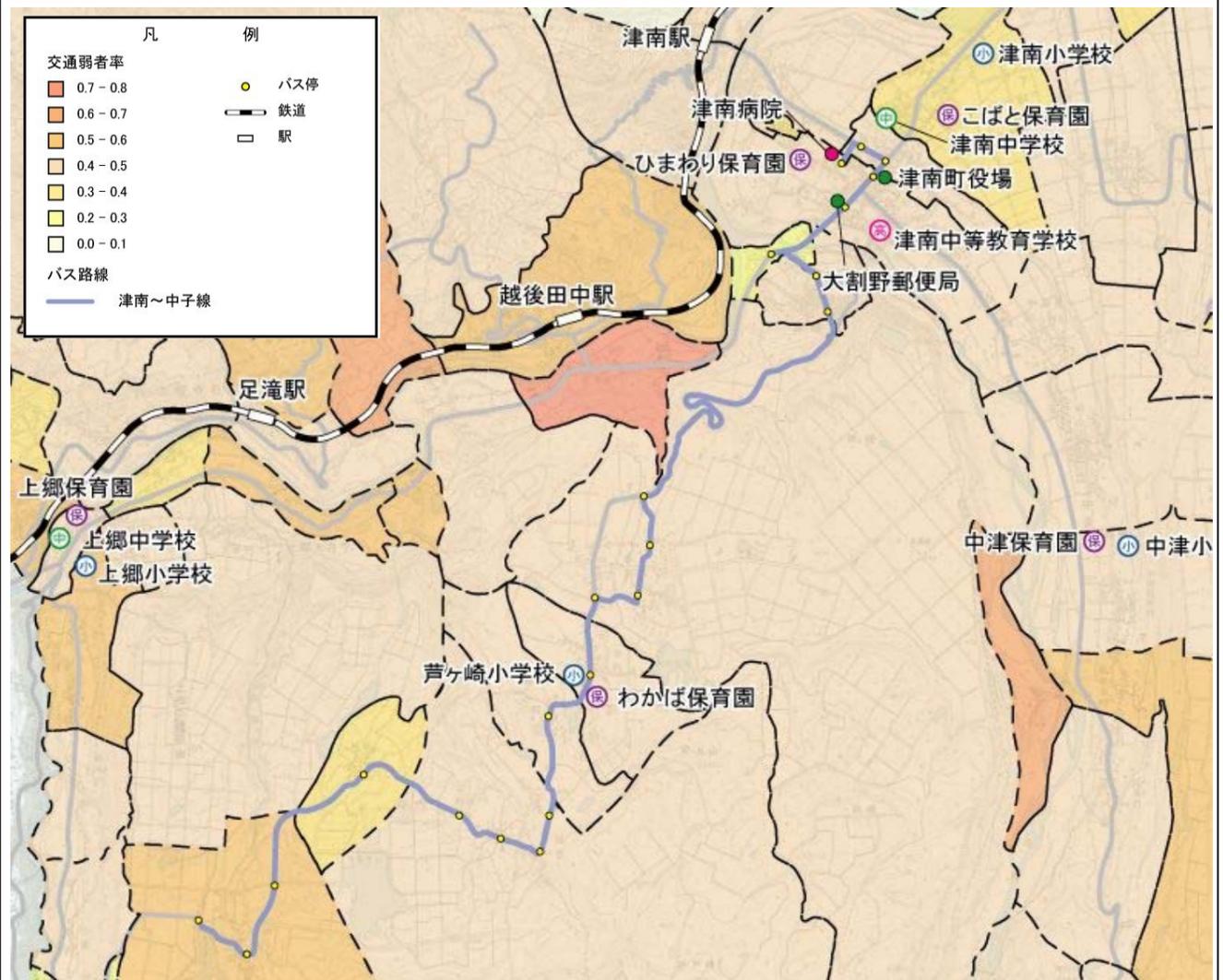


【行き来できない施設・エリアの有無】

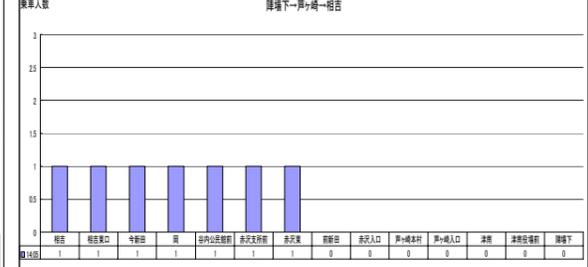
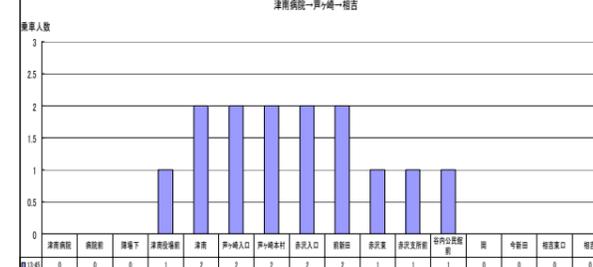
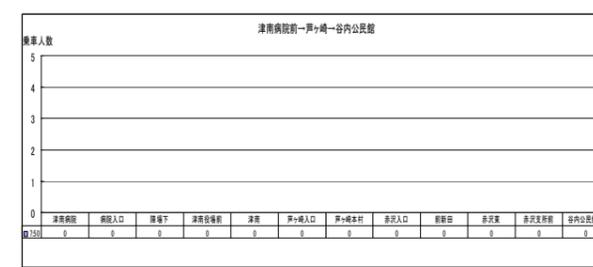
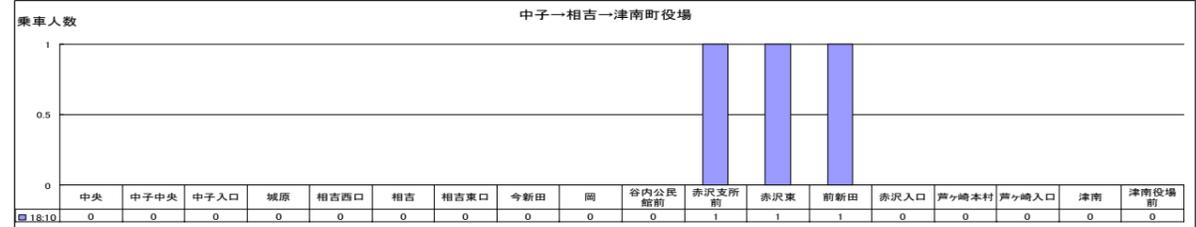
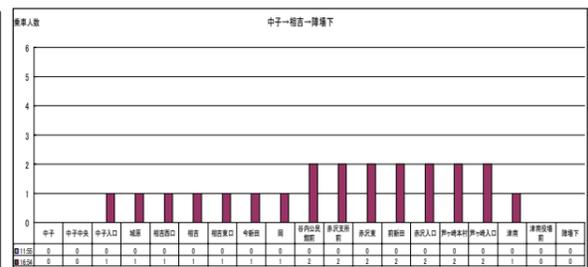
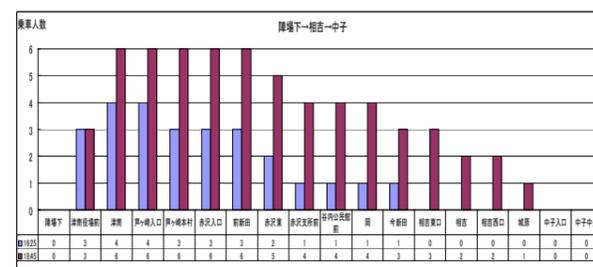
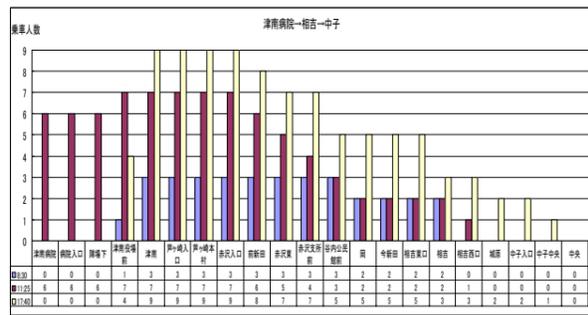
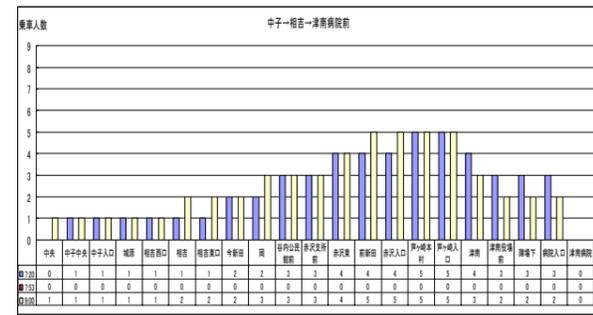
- ・ 公共交通で行き来できない施設・エリアがあると回答している方が 20.5%。



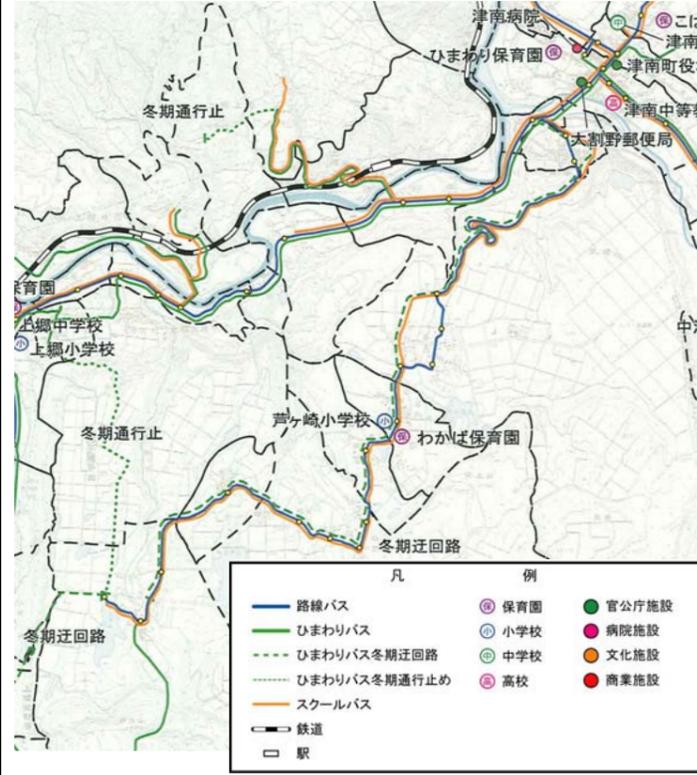
バス路線網(現況)



路線バス乗降調査結果(H19.6 データ)



既存公共交通の重複状況



当該エリアの問題点・課題

- 【路線バスとスクールバスの重複状況】
- スクールバスは、津南中学校への登校時に対応して運行し、このバスは芦ヶ崎小児童の登校時にも、中子～芦ヶ崎小間（混乗）で利用する。
  - 下校時は、月曜日のみスクールバスを利用し、他の曜日は路線バス「中子～津南」を利用している。
  - しかし、スクールバスは、運行ルート・運行ダイヤが、路線バス「中子～津南」とほぼ重複する状況で運行している。
  - また、当該地域では、ひまわりバスも運行しているが、冬期のみに対応として、中子・大谷内まで運行している。
- 【その他の状況】
- 冬期以外の期間における大谷内へのひまわりバスは、運行してはいるものの、百ノ木から対応する現状となっている。
- 【今後予想される変化状況】
- 特になし。

当該エリアの公共交通ネットワーク見直し・再編イメージ

- 【公共交通ネットワークの見直し・再編】
- 方向性①：路線バスは通学・通院対応バスとして見直し変更
- 通学対応ダイヤで運行しスクールバスの機能を持たせるとともに、通院にも対応した運行ダイヤに変更し運行する。
- 方向性②：乗合タクシーの新たな運行（ひまわりバスの代替交通・昼時間帯での路線バスの代替交通として）
- 路線バスの利用度が低い昼間を中心とした時間帯においては、現行の路線バスの代わりに乗合タクシーを導入し対応（運行形態は、多目的で利用できる定時デマンド方式）する。
  - 現在、冬期以外での大谷内からの通院は、百ノ木からの「ひまわりバス」で対応するが、当該地区に「乗合タクシー」を導入し通年の対応とする。
- 方向性③：スクールバス運行の見直し（路線バスによる代替運行）
- 上記①の変更に伴い、現在運行のスクールバスは取りやめの方向で見直す。
- 方向性④：ひまわりバス運行の見直し（乗合タクシーによる代替運行）
- 上記②の変更に伴い、現在運行（冬期）の「ひまわりバス」は取りやめの方向で見直す。

